

前期期間中に完了となった項目について

基本 目 標	ページ	項目名	主な内容
2-15	P18	労働会館の料金体系の見直し	減免の範囲、率等について規則を改正し、平成28年4月1日から施行及び指定管理者に対し当該改正に係る説明、指導等をしたことにより利用料金制の適正化を図った。
3-16	P34	人間ドックおよび脳ドック事業のあり方の検討	人間ドック事業の対象年齢を拡充して今後も継続し、特定健康診査においても全市的に総合健診化を図ることで、受診しやすい環境を整備していく。脳ドック事業については、市で実施しているほかの検診に代替えができないため、今後も継続していくことが決定したため、完了とする。
3-24	P38	公金収納データ処理業務の外部委託	H27に外部委託の実施により職員数1.5名を削減。また、OCR機器の購入費や保守料が不要となった。
4-1	P43	中央二丁目4番地区に保有する市有財産の利活用の検討	H28.9払下げ済み。

前期期間中に完了となった項目について

基本 目 標	ページ	項目名	主な内容
4-9	P47	北上地区物販施設(北上観光物産交流センター)の適正な管理・運営の検討	H30.2開館し、指定管理者制度導入済み。
4-11	P48	おしか家族旅行村オートキャンプ場への指定管理者制度の導入	H28より指定管理者制度導入済み。
4-12	P48	旧深谷病院の施設等市有財産譲渡の検討	H28.9に、土地を有償、建物を無償で譲渡済み。
4-17	P51	観光交流施設(かわまち交流拠点)の適正な管理・運営の検討	H30より指定管理者制度導入。(H30.9.1開館予定)
4-26	P55	市立高校の統合	H27に市立高校2校を統合済み。
4-30	P57	陶芸丸寿かんけい丸の利活用の検討	H29.11開館し、H30より指定管理制度導入済み。
4-38	P61	牡鹿病院のあり方の検討	H28に策定された新公立病院改革プランで、病床数の削減や新たな医療需要への対応など牡鹿病院のあり方について決定済み。

年度別取組指標の未実施となった主な取組について

目標	項目名	未実施となった主な指標	今後の課題等
人材組織	施設維持事務所の業務のあり方の検討	人員の削減及び業務の民間委託	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託内容の精査 ・補修作業遅延等防止のための民間委託のあり方の再検討
歳入	自動販売機設置に係る入札制度の検討	自動販売機設置に係る入札制度指針の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・設置場所、付帯機能を含めた取扱基準等の継続的な検討
歳入	国債等による基金運用の実施	普通預金・定期預金以外の方法で運用された基金の数	<ul style="list-style-type: none"> ・復興事業の進捗に伴う復興交付金や復興基金の残高の減少及び震災特交も含めた精算等による繰替運用への影響
歳入	放課後児童クラブ利用負担金の見直しの検討	運営経費や公的負担の考え方を踏まえた適正金額の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・震災減免が継続されている中での利用負担金を上げた場合の減免対象外世帯との公平性 ・震災減免措置の廃止と利用負担金の見直しの計画的・段階的な実施の検討
歳入	奨学金滞納整理マニュアルに基づく奨学金滞納対策の強化	奨学金滞納対策マニュアルの策定	<ul style="list-style-type: none"> ・催告を適正に実施可能な体制の整備
歳入	下水道使用料の見直し	下水道使用料改定	<ul style="list-style-type: none"> ・平成32年4月1日公営企業会計移行後に料金改定予定
公共施設	小・中学校の学区再編計画に基づく学校施設の統廃合	学区再編計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者説明会で提示された意見等の分析と、課題の整理及び検討を行い、地区住民を対象とした説明会を開催し、平成30年度内に学区再編計画(案)を作成
公共施設	総合運動公園への指定管理者制度の導入	指定管理者の公募・選定	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度導入に係る継続的な検討